

令和5年度 学校評価票（教職員用自己評価）集計結果

項目	令和5年度 重点目標	評価項目	自己評価										評価	今後の課題・改善策		
I チーム三島 学校組織の充実	学校教育目標達成をめざし、全教職員の協働体制を確立する。	めざす子ども像を共有し、自分の能力や適性が発揮できるように公平に分担された校務分掌に、やりがいを感じている。	B	B	B	B	B	B	A	B	C	B	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・オンラインの回数を減らし、顔を合わせて終礼や職員会を行う機会を増やす。 ・教職員間の連絡や相談をもっともっとこまめにしていきたい。 ・校務分掌の公平は大変難しいが、自分の能力以上のことだったり、切羽詰まったりした時は、自分から助けを求めるのが当たり前という気持ちを持つことが大事である。三島小学校はできているように思うが、大丈夫かなと思ったら声をかけ、受け入れて一緒にやっという意識をもつことが大事だと思う。 ・自分の校務分掌すべきことは知っておき、計画的に進める。自分以外の教職員の計画にも誠意をもって取り組む。 ・日頃からの細かな連絡の上に、目標を達成するための具体的完全策を話し合う時間がほしい。
	職員の意識改革と業務改善や業務の効率化を推進し、全教職員の意欲と創意を結集した学校運営に努める。	ゆとりを持って子どもと向き合い、日々の教育活動の問題点や悩みを、気軽に話せる風通しの良い人間関係づくりに努めた。	B	B	B	B	C	A	A	C	B	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身の業務内容の一つ一つの意義や意味をよく考えて取り組むことが大切である。業務の改善や効率化のためには、そのことを常に意識して取り組み、その後、精選していきたい。また、風通しのよい人間関係づくりには日頃の挨拶等ささいなことが大切だと感じた。 ・何でもやればやるほどよいのは分かっているが、今は意識改革を求められている時代なので、思い切ってやめることを増やす。 ・小規模校の特性を生かし、全教職員が全児童に関わるという意識で、ちょっとしたお茶タイムなどでも、気軽に子どものことなどの情報交換をしたい。 ・職員全員で顔をつきあわせての職員会の時間がほしい。 ・生活アンケートの集計をFormsで行うことで、担当学年のアンケート結果だけでなく、他学年の結果も情報共有できたので、今後も継続し、ICTをさらに活用していく。 ・校務処理に関して、見通しが持てず、後手後手になることが多かったが、負担を軽減していただきありがたかった。悩みがあれば自分から相談をしていく姿勢を持つことが大事である。 		

評価基準 A：達成できた（85%以上） B：ほぼ達成できた（70%以上85%未満） C：十分できなかった（50%以上70%未満） D：さらに努力を要する（50%未満）

令和5年度 学校評価票（教職員用自己評価）集計結果

項目	令和5年度 重点目標	評価項目	自己評価										評価	今後の課題・改善策		
Ⅱ 学びの 深化	計画・実践・評価・改善による教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える児童を育成する。	新しい要素を取り入れたり、指導方法の工夫改善に努め、基礎基本の定着に努めている。	B	B	A	B		B	B	B	B	C		B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を言わないことがよくあるので、朝会の時にテンプレートの話を使うのも一つではないかと思う。今は、なかよし班活動時に、感想を言う時間を作るなどしか考えつかないが、自分の考えを言う時間を作る必要がある。 ・基礎基本の定着に努めたが、新しい要素を取り入れることはできなかった。 ・まず、ICTの活用をやってみることから始めたが、次の段階「効果的に」とか「導入での意欲付け」に絞るなど、具体的に進めたい。 ・本年度は十分にできなかったが、来年度は教科書に準拠するだけでなく、実態に応じて色々な教材開発やカリキュラムマネジメントの工夫をしていきたい。
	読書の習慣化を実現し、思考力や読解力を育成する。	自分が立てた読書目標が達成できるように「読書記録カード」を有効に活用している。	B	B	B	C		C	B	A	C		C	<ul style="list-style-type: none"> ・低学年には、休み時間を利用して、読み聞かせを行うなど、本に興味を持ってもらえるようにしたい。 ・家読の継続、教師の声かけが必要。思考力や読解力を育成するためには、教師の意図する本を読み聞かせすることが大事である。 ・読書の嫌いな児童もいて、読み聞かせをする程度に終わった。どのように取り組ませていけばよいのか考えていきたい。 ・家読リレーの取組はいいと思う。図書委員会の活動も子どもの意欲を引き出してくれている。 ・今年度より、家読リレーを始めたが、実践しっぱなしになっていたもので、全員が回し終わった後に、朝活の全校読書の時間を活用して、リレーした本について学級全体で振り返る時間をとってもよいと思う。 ・高学年になるにつれて、読書をする子としない子の差が広がるように感じた。読書賞やイベントなどがあり、楽しく貸し借りができていっているので続けていきたい。貸し借りに行く習慣が低学年でしっかり定着しているのでやりやすかった。 ・授業の時間に教科書以外の資料をたくさん読ませる方が良いと聞いたことがある。負担にならない程度で、美馬市立図書館と連携して、毎月本を学年ごとに借りるのもいいと思う。 		
	意欲的に研修に参加し、教師力の向上に努める。	研修したことを、校務や指導に生かすことができた。	B	B	B	C		B	A	B	B	B	B	B		<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に研修に参加するとともに、学校へ還元できる努力を行いたい。 ・研修で学んだことをそのままにしないで、対象児童に研修内容を当てはめて具体的に支援方法を考えるようにしたい。 ・研修の日時をきちんと把握しておく。 ・何ヶ月か後に提出するアンケートをやめて欲しい。いい研修でも子どもがいる時間は行きづらいので、もっと気軽に参加できるような時間作りができたらいと思う。 ・これから児童も職員の数も減っていくので、出席したい研修に出られるように、時間割等を工夫・調整したい。 ・来年度は複式になるので、授業形態について話し合ったり公開授業等の研修があればうれしい。

評価基準 A：達成できた（85%以上） B：ほぼ達成できた（70%以上85%未満） C：十分できなかった（50%以上70%未満） D：さらに努力を要する（50%未満）

令和5年度 学校評価票（教職員用自己評価）集計結果

項目	令和5年度 重点目標	評価項目	自己評価												評価	今後の課題・改善策
Ⅲ 個性が輝き一人一人が活躍	一人一人を大切にし、ともに生きるための教育活動を創造する。	差別や偏見のない学級集団づくりに努め、全教科・領域で人権教育の推進に努めている。	B	B	B	B	C	B	B	C	B	C	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の人権感覚を養い、子どもたちを自分の言動で傷つけることがないように、日常生活や児童と関わる際の言葉かけや行動一つ一つを常に意識していきたい。 ・ 気になることがあったら、すぐに声をかけたり、該当の担任に声をかけたりすることを躊躇しない。 ・ 一人一人の特性を理解することに努めた。 ・ 児童理解だと思いが、分かっていても、どうはたらきかけたらいいか悩み続けている。ちがう視点からの助言やアドバイスがほしい。 ・ 係活動や学級活動での話し合い、委員会・児童会などの特別活動を充実させたい。 	
	保護者のニーズを知り、個に応じた最適な支援方法を研究し、人間的ふれあいを密にした支援と指導を充実させる。	保護者や関係機関と連携し、全教職員の間で共通理解のもと、個に応じた支援方法に努めた。	B	B	A	B	C	B	B	C	B	C	B		<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者のニーズに応じて可能な範囲で職員間で周知・共有・共通理解を行うことで、さらによい支援や指導ができると思う。 ・ 子どものよいところを普段知らせることを常とし、お願いしたいことや不適切なことを伝えるときに言いやすい環境を作っておく。理屈を言わないで寄り添う姿勢をモットーとする。 ・ ケース会議で、現状や課題について共通理解したことを全職員にも知らせ、保護者に寄りそいながら同じ方向で進んでいくことができるようにする。 ・ 距離感が難しい。どうしたらいいかがわからない。 ・ Teamsの「R5チーム三島」→「共有事項」のチャンネルなどをもっと活用する。 	

評価基準 A：達成できた（85%以上） B：ほぼ達成できた（70%以上85%未満） C：十分できなかった（50%以上70%未満） D：さらに努力を要する（50%未満）

令和5年度 学校評価票（教職員用自己評価）集計結果

項目	令和5年度 重点目標	評価項目	自己評価										評価	今後の課題・改善策				
IV	グローバル人材の育成	<p>よりよく問題を解決する力と、生涯学習の基礎となる「生きる力」を育成する。</p>	<p>体験活動や交流活動を通して、一人一人に課題意識をもたせ、問題解決に取り組む時間を十分に与えた指導方法に努めた。</p>	B	B	A	B										C	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全体を通して、些細なことでも、子どもたちが考えられる時間や経験をできるように機会をもたせられるように努力したい。 ・自分で考え解決できる力や、周りの協力を得る手段などをもっと具体的に分かりやすく理解させられるようにしたいと思う。 ・来年はさらに人数が減るので、体験や交流活動を増やすとよいと思う。また、自分たちの思いを生かし、自ら行動していると自覚できるような工夫を教師が考えていく必要がある。 ・子どもの実態に合わせて工夫し、計画的に行えるようにしていく必要があるが、教科の学習とのかねあいが難しい。 ・体験的な学習活動には地域の方の力をうまく活用することが必要であるので、人材バンクを作ってほしい。 ・体験活動を柱にした単元を考えていきたい。
		<p>目標の共有化と地域との協力体制を構築し、国際感覚を養う教育活動の充実に努める。</p>	<p>ICTを効果的に活用し、情報活用能力の定着に努めた。</p>	B	B	B	C											

評価基準 A：達成できた（85%以上） B：ほぼ達成できた（70%以上85%未満） C：十分できなかった（50%以上70%未満） D：さらに努力を要する（50%未満）

令和5年度 学校評価票（教職員用自己評価）

（学校教育目標）
未来を担う 人間性豊かな 子どもの育成

校訓
自 主
協 同
奉 仕

めざす子ども像
・伸びる学校
・美しい学校
・進んで助け合う子
・楽しい学校
・進んで考える子
・進んで働く子

	項目	令和4年度 重点目標	評価項目	評価
I	学 校 組 織 三 島 充 実	学校教育目標達成をめざし、全教職員の協働体制を確立する。	めざす子ども像を共有し、自分の能力や適性が発揮できるように公平に分担された校務分掌に、やりがいを感じている。	B
		職員の意識改革と業務改善や業務の効率化を推進し、全教職員の意欲と創意を結集した学校運営に努める。	ゆとりを持って子どもと向き合い、日々の教育活動の問題点や悩みを、気軽に話せる風通しの良い人間関係づくりに努めた。	
II	学 び の 深 化	計画・実践・評価・改善による教育活動を推進し、自ら学び、自ら考える児童を育成する。	新しい要素を取り入れたり、指導方法の工夫改善に努め、基礎基本の定着に努めている。	B
		読書の習慣化を実現し、思考力や読解力を育成する。	自分が立てた読書目標が達成できるように「読書記録カード」を有効に活用している。	
		意欲的に研修に参加し、教師力の向上に努める。	研修したことを、校務や指導に生かすことができた。	
III	一 人 性 が 活 躍 き 一 人	一人一人を大切にし、ともに生きるための教育活動を創造する。	差別や偏見のない学級集団づくりに努め、全教科・領域で人権教育の推進に努めている。	B
		保護者のニーズを知り、個に応じた最適な支援方法を研究し、人間的ふれあいを密にした支援と指導を充実させる。	保護者や関係機関と連携し、全教職員の共通理解のもと、個に応じた支援方法に努めた。	
IV	の グ ロ ー カ ル 人 材	よりよく問題を解決する力と、生涯学習の基礎となる「生きる力」を育成する。	体験活動や交流活動を通して、一人一人に課題意識をもたせ、問題解決に取り組む時間を十分に与えた指導方法に努めた。	B
		目標の共有化と地域との協力体制を構築し、国際感覚を養う教育活動の充実に努める。	I C Tを効果的に利活用し、情報活用能力の定着に努めた。	

評価基準 A：達成できた（85%以上） B：ほぼ達成できた（70%以上85%未満） C：十分でなかった（50%以上70%未満） D：さらに努力を要する（50%未満）